

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

今週、別冊『くらしの雑貨』が配布されています!
「石けん・シャンプー類」が
カタログ本紙から独立して
毎週注文できるようになりました!

くらしの雑貨～石けん生活

1. わが家の定番石けん・シャンプー類がいつでも注文できます!
「あ! シャンプーがもうすぐなくなりそう!」
注文しようと思ったら今週のカatalogに載っていない! サイクルを見たら4週間に1回だった! そんなことがなくなります。翌週届きます。
2. 注文方法・・・2月中は、特別企画注文欄に3桁の番号を左詰めで記入してください。(3月1回からはOCR注文用紙の裏面に商品名が入った注文欄が印刷されます)
3. この冊子は第一次「初版」です。
初版では「成分・原材料」をすべて表示することとしました。
半年ほどかけて組合員さんから「わが家の定番、一押し、ここがおすすめ」を募集し、秋に「第二版」を発行する予定です。
4. この冊子は「保存版」です。捨てないで下さい。
毎週この番号で注文できます。新しい版がでるまでこの別冊をご利用ください。
5. 「特価」はカタログ本紙でご案内します。



【ご連絡】40周年に向けた事業計画

【第2弾!】 3月から基礎調味料・食品・乾物・お菓子 (ドライ商品 275 アイテム) も毎週注文できるようになります。原材料も一括表示されている「別冊」になります。

【第3弾!】 3月1回から商品カタログ (COOP-MAIL JOSO) が生鮮品・旬を中心にした「Weekly カタログ」にリニューアル。生産者・産地紹介や商品解説、表示、レシピが充実します。注文用紙 (OCR用紙) も変わります。
(毎週注文できる調味料・食品・菓子・石けん類がOCR裏面に商品名表示されます)



「別冊」になる調味料・食品・乾物・菓子 (3月1回より)

40周年「わたしの生協 ひとことメッセージ」(組合員) 2

〇今はコットン作りが楽しく

取手の井野団地が出来た時からのメンバーです。40年になります。今のところコットン作りが楽しいです。生協祭りもお手伝いしていきたいと思います。品質は良いし、よく吟味されているとは思いますが、お値段はちょっと高いです。(取手市 Sさん)

〇娘も私よりも安全安心にこだわって

常総生協に入って、35年。食の安全を願うのでした。注文して届けていただくだけの組合員です。15才だった娘も51才となり、私よりも安全・安心にこだわっています。豊かな国産のものが、安心して手に入るよう原発反対・TPP反対を、声を出していけるよう取り組んでいただきたいと思います。これからも、よろしく願いいたします。(取手市 Kさん)

〇途中、危機もあったわ

組合員になって35年になります。途中危機もあり、無くなるのではと心配しました。常総生協を信頼しているからです。これからは、総会にも出席しなくてはと考えています。(取手市 Kさん)

〇息子のパートナーが美味しいと

取手市に引っ越してきて、常総生協のお世話になり29年余り、我が家の食卓を豊かにしてくれ、食に関する様々なことを学べたのが常総生協だと感謝しています。幼稚園児だった息子も家庭を持ち子育てをするようになりました。折に触れ、常総生協の食べ物を送ったり一緒に食べると息子のパートナーが美味しいと喜びます。他県に住むためほかの生協に加入するも、「お義母さんの送ってくれる品物がない。同じようにおいしくない。」と言います。常総生協の“ひとつ筋の通った思い”が、私は好きです。岩瀬さんの豚肉、高橋さんの練りもの、ほかの加工品、安心な野菜を作って下さる農家の方に心より感謝しています。(取手市 Oさん)

〇いつも遠くからしっかり見えていますよ

常総生協40周年おめでとうございます。常総生協組合員になって25年近くになります。その前の生協会員年数を含めれば35年以上です。こちらに転居してたまたま最初に訪問勧誘があったのが常

総生協さんでした(確か大石さんでした)。一番は商品の品質、そしてそれに対する常総生協のスタンス、しかも頑固なぐらいのこだわり、それが信頼につながっています。行事などなかなか参加できず申し訳ないなあと思っていますが、いつも遠くからしっかりそのお仕事、活動などは見ているつもりです。ブレずに地道に組合員・生産者・職員とともにあって欲しいと思っています。(守谷市 Tさん)

〇お手伝いもさせて頂きました

40周年おめでとうございます。昭和57年龍ヶ崎に転居以来の会員です。店舗もなく不便さに会員になりましたが、生協の考え方にも賛同、最初の頃はお手伝いもさせて頂きました。現在後期高齢2人世帯になりささやかに注文のみですが、今後共よろしく願います。(龍ヶ崎市 Tさん)

〇新しい生協さん、早く会いたいね!

26年間、私を支えてくれた生協さんありがとう。新しい生協さん、早く会いたいね。(坂東市 Nさん)

〇生活を学んでいけますよう

転勤族の私にとって生協は仲間に入れていただく有難い組織でした。その土地の産物や伝統料理を学んだり子守をお願いしたり各地の先輩主婦の皆様にはお世話になって生きてきました。常総生協には龍ヶ崎ニュータウン入居以来もう30年位お世話になっております。全国各地の熱心な生産者とより安全なものと願う消費者を結んでいただいていると思います。これからもよりよい生活を学んで行けますよう貴重な提言をよろしく願います。(龍ヶ崎市 Iさん)

〇私を変えてくれたのが常総生協でした

かつて買う人、食べる人だった私を変えてくれたのが常総生協でした。健康・子育てに取り組むときは身近なガイドでした。そして色々な災害や事件、事故を経て今は一番のよりどころです。安全でおいしい食材・食品を生産者・生協・組合員が手を携えて守っていきましょう。(龍ヶ崎市 Sさん)

40周年「わたしの生協 ひとつことメッセージ」(生産者) 2

○【江川農園】(神奈川県小田原市) みかん

常総生協設立40周年おめでとうございます。

江川農園も取引を始めて30年余り、自分で作った農産物を直接消費者の皆さんに届けたく、縁あってお付き合いが始まりました。



江川さん親子

取引が始まり一番感じたことは、職員の皆さんが、生産者の思いを理解し、大事にしてくれる事です。農業駆け出しの自分には力にもなり励みにもなりました。この思いに応えるため、今日まで頑張ってきた気がします。

これからも組合員の皆さんに安全で美味しい果物を届けられるよう頑張ります。

○【松永農園】(静岡県由比市) レモン

気がつけば常総生協さんとおつきあいで四半世紀が過ぎ、当時赤ちゃんだった息子が就農し畑を広げるに至っています。これからも宜しくお願いします。



松永さん(息子さん夫婦)
富士山を背に

今までは夢中で走ってきたような気がしますが、これからは農家からの無農薬自然栽培のよさを発信していけるよう心がけて行きたいと思います。

○【清水農園】(茨城県坂東市)

無農薬野菜セット

40周年おめでとうございます。

お付き合いが始まって15年が過ぎました。「野菜セット」が組合員さんにどのように認知されるのか不安でした。長く続けてこれたのは広くご理解いただけたおかげだと思います。



清水さん夫妻

毎日供給に汗を流してくださる職員の方々にも心から感謝しています。

原発事故以降大きな打撃を受けました。有機農業の存在意義すらなくなるほどのショックでした。現在でも原発事故以前のように大らかな気持ちで農業をすることはできません。生産者としての責任を

重たく感じています。

現実を受け取め、前に進むしかありませんが、なかなか大変なことです。少しでも生きやすい社会、居心地が良い社会を望むなら、自分の頭で考えて行動するのが生協の仲間だと思います。考える時間すら失ってしまう社会で生協の場は本当に大切です。

○【しらたかノラの会・代表新野裕子】

(山形県白鷹町) 農産加工品

40周年おめでとうございます。

常総さんとは、私が白鷹農産加工研究会に所属していた時代から、私たちの学習会に糟谷理事と大石専務に来ていただいたり、若い職員の方々と大朝日岳登山を楽しんだり、多彩な交流をさせていただいて来ました。



その中で、特に印象深いのは、2003年8月3日、旧谷和原村にて行われた「遺伝子組換え大豆に関する緊急集会」があります。私たちも4人で山形から駆けつけました。常総さんの「モンサント」という巨悪に立ち向かう気概に感動と共感を覚えました。

もう一つは、2005年8月26日、旧八郷町で開かれた業者会です。ユニークな加工業者や生産者、常総の職員の方々との語らいはアットホームで、時の経つのを忘れるひと時でした。

これからも、強きをくじき弱きを助ける、生協でいてくださることと信じております。40周年おめでとうございます。



2003年、「遺伝子組み換え作物の国内栽培反対！わたしたちの作物・食を組換え遺伝子で汚染させないための緊急連帯集会」呼びかけて3日で全国から200名のみなさんが駆けつけてくれました。右下写真が白鷹のみなさん(真ん中の女性が新野さんでした)

第39回 脱原発と暮らし見直し委員会（報告）

1月9日 守谷市中央公民館にて
参加者15名
現在取り組んでいる活動の経過報告です。

1 知る見るリーフ

身近な放射能の危険性と対策についてお知らせするリーフレットの内容について、前回に引き続き検討しました。
給食と検査、国の基準値、検査における限界値、埃や花粉に付着したセシウムとマスクの効果、落ち葉と道路わきの窪みでのセシウム値の高さなどいろいろな視点から討議。

2 児玉先生の新作

講演会や甲状腺検査へのご寄付などでお世話になっている埼玉の児玉順一先生が、放射能汚染から生命と健康を守るための「活性酸素とミトコンドリアものがたり」を新たに執筆されました。目下、委員が原稿を読ませていただいています。

3 第2次土壤放射能調査プロジェクトの提案

常総生協では、高木基金やつくば市民測定所と連携して、セシウムの移動を広域調査する計画があります。第1次調査にご協力いただいた皆さん、ぜひ今回も参加をお願いします。詳細は追って公開されます。

4 参加報告

- ・化学物質の学習会：日常生活に潜む、身の回りの危険な物質を再確認
- ・「小さな上映会」：DVDの貸し出しも順調で、組合員が各地で仲間を集めて実施中

5 これからの予定

- 1) 組合員に向けて、委員会活動に関するアンケートを今月実施
- ★いろいろなご意見をお待ちしています。
- 2) データ収集チームは各地域の土壤の測定結果をまとめて、次回の委員会で比較検討
- 3) 1/14 知る見るカフェでパブリックコメント等について学習会（関東ネット）
- 4) 環境省の「専門家会議」に対するパブリックコメントは今月21日が締め切り
- 5) 1/31(土) 勝田で「日本と原発」上映会（マイクロバスが出ます）
3/8(日) 我孫子で上映会

★次回の委員会は2/2(月) 柏市中央公民館 3階会議室で 10時～1時。

小児科医の立場から、放射能の身体への影響をわかりやすくひもとく

「児玉順一先生講演会」DVD 上映会

昨年1/16に常総生協本部で行われた、児玉先生（埼玉在住、開業医）の講演会を記録したDVDの上映会を、下記のとおり行います。

日時：2015年2月2日（月）
14:00～16:00
場所：柏市中央公民館4階
会議室2
参加費：無料



昨年の講演会に参加できなかった方、もう一度見たい・聞きたい方、児玉先生に興味のある方、お問い合わせの上ご鑑賞ください。

お申し込みは、常総生協 0297-48-4911まで。（当日参加もできます）

会場の予約団体名は「おしゃべり野菜くらぶ」となっています。

駐車場は柏市役所の駐車場をご利用ください。（1時間まで無料、その後1時間毎に100円）

児玉先生のご著書「A LETTER FROM JAPAN」を当日販売します。（500円）

同日午前中に3階会議室にて「脱原発と暮らし見直し委員会」を開催します。興味のある方はこちらどうぞ。